



日本大学櫻丘高等学校同窓会

会報

同総会ホームページ URL
<http://www.sakura-doso.org/>
 日本大学櫻丘高等学校同窓会 会報
 発行所: 日本大学櫻丘高等学校同窓会
 〒156-0045 東京都世田谷区桜上水3-24-22
 発行責任者: 武田清直

Contents

第62回総会..... 1	令和4年度卒業生 日本大学進学状況6
会長ご挨拶・就任ご挨拶 2	部理事会報告・奨学金6
同窓生からの寄稿①② 3	活紹介/アウトドア部 ・ 61期会計・財務報告書7
同窓生からの寄稿③ 4	本年度総会の御案内8
同窓生からの寄稿④ 5	

令和5年度（第62回）総会が開催されました



新型コロナウイルス感染症が5類となり、ようやくコロナ前のような形での総会が開催できるようになりました。いろいろな意見のある中、これまでは金曜日と決めて開催していた開催日を土曜日に移し昼間からの開催として、会場も変えて場所は同じ渋谷でセルリアンタワー東急ホテルの広い会場での着席での開催といたしました。

また、これまでの経過などもあり約70名と少し少ない参加者ではありましたが、久々の飲食を伴う総会ということもあり、参加した皆さんには楽しいひと時を過ごすことができたようです。令和6年も同じ広い会場で土曜日の開催となりますので、ぜひ同期のお友達などとお誘いあわせの上ご参加いただければ幸いです。

会長ご挨拶

会長 武田 清直

同窓会会員の皆さまいかがお過ごしでしょうか、コロナ感染症も5類に変更されて、インフルエンザと同じ扱いにはなりましたが、まだまだ不安は拭い切れないのでは無いでしょうか。

本会も昨年5月に3年振りに渋谷の東急セルリアンタワーホテルで講演会・総会・懇親会を開催させていただきました。約70名の会員の参加をいただきました。

このような世情の中で元日に更なる悲劇が襲いました。令和6年能登半島地震です。関係者で被害に会われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

本会も本年5月18日午後4時から総会の開催を決定しました。会員の懇親の場に成ることを第一に考えています。会員の皆さんの同期・クラブ活動の仲間・友人をお誘いいただき多くの会員のご参加をお待ちいたします。

今後の会員各位のご健勝・母校の益々の発展を記念致し、会長挨拶とさせていただきます。



就任ご挨拶

教頭 澤田 彰

令和5年度より日本大学櫻丘高等学校の教頭を拝命いたしました。平成11年に大学卒業後海外での自分探しの旅を経て、平成12年4月より英語科非常勤講師として日本大学櫻丘高等学校に勤務し、平成13年より専任教諭として奉職させていただきました。

本校の教育の中心である櫻イノベーションの1つに「グローバルマインドの形成」があります。コロナ禍を経て、様々な制限が緩和され、徐々に日常が戻り始めた今年度は、英国語学研修や留学制度も再開され、生徒が積極的に参加する様子から、年々グローバルな分野への興味関心が高まっているように感じています。令和3年度からは、本校の教育課程を履修しながら、アメリカの私立中高一貫校の授業を2年間受講することで、本校の卒業資格と現地の卒業資格を取得できる「US. Dual Diploma Program」が始まり、既に卒業生がアメリカ国内のパートナーシップ大学へ進学しています。グローバル教育のあり方も変化しており、異なる文化や価値観を理解し、国際的な視野を持つために、生徒のニーズに合わせた様々なプログラムを提供していき、世界の中で活躍できる力を涵養していきます。

令和7年度には本校は創立75周年を迎えます。これまでの櫻丘高校の良い伝統を継承しつつも、先行き不透明で予測困難で目まぐるしく変化する社会に柔軟に対応できる力を身に付けることができるよう、教育活動を展開していきます。生徒が、日頃の学習・部活動・行事などを通じて仲間と手を取り合いながら、より活気に溢れた様子を見ることができ大きな喜びを感じるとともに、学校内外に関わらず知識を広げ、グローバルに活躍していくことを楽しみにしています。そして何よりも生徒を主語にする生徒ファーストの精神を常に持ち、生徒の夢を実現するサポートをしていきます。現在、学校を取り巻く様々な問題がありますが、その一つひとつに丁寧に向き合い対応し、「櫻丘で良かった」と生徒から言ってもらえる学校であり続けるよう、全教職員とともに邁進していきます。また、これからも教育の力を信じ、創立100年に向けて更に進化し続ける学校であるよう同窓生のご理解ご協力を得ながら教育活動を展開できよう精進いたします。



同窓生から①

第26回生(1987年卒業生)同期会

26回生 蜂巣 正徳、松原(旧姓秦)亜衣子

第26回生(1987年卒業生)同窓会『日櫻 Friends 55 YEARS MEMORIAL PARTY 2023』の開催

卒業から37年、節目の55歳を記念し、去る11月25日(土)に29名参加の下、同窓会を開催しました。

前回(5年前の50歳時)の開催から、コロナウィルス感染症の影響によりこのような会ができませんでした。

今回は5年ぶりの開催となりましたが、同じ時を過ごした仲間は直ぐに打ち解けることができ、笑顔いっぱいの集まりに。初めて参加して頂いた方にも大変喜んで頂きました。

今後も節目の年に開催し、同窓生の輪を広げていければと考えております。本紙を読んでいる26回生の皆さま、是非次回開催の際にご参加ください。



編集部 注) この記事は同窓会HPでもご覧いただけます。

<http://www.sakura-doso.org/info8.html>

同窓生から②

櫻四期会

4回生 大嶽 眞一

十数年前にゴルフ好きの有志の声で始めた同好会も会を重ねる毎にメンバーが増え、2012年5月に名称を「櫻四期会」と称し成田ゴルフクラブにてコンペを開催。その後、女子も交え不定期ながら毎年、青空の下で楽しんで参りましたが、体力的・諸々の事情で男子オンリーとなったことからゴルフに関係なく、女子も一緒に集える懇親の場を設けようとの声があがりました。

遅ればせながら2017年6月に齢・節目となる古希の会を都内・渋谷で開催。その折には遠路名古屋から馳せ参じた方や、風貌は変わるも卒業以来の顔合わせとなる者もあり、日櫻当時そのままの元気な姿が懐かしく和やかな雰囲気楽しいひと時を過ごしました。

以来、懇親会は毎年開かれるも、新型コロナの影響で自粛せざるを得ない時期もありました。沈静化された昨年5月に「喜寿の集い」を、又、本年1月には「新年会」を同期生がオーナーの新宿・天津飯店本店で行いました。初めて参加される方もあり60年近い久しぶりの再会で昔話に花が咲き、楽しい歓談の一日でした。

近年は通信手段も進化し、ラインアプリなどの利用でお互いの連絡も非常に簡単な時代となりました。お互い元気な姿での談笑が健康の源であると信じている皆様、この機会に若者に負けじとスマホ等の機器を駆使して親交のある同期生との繋がりを密にし、更なる「櫻四期会」の輪を広げ、次回にご参集頂ければと、ご案内申し上げます。

(連絡先) 瀬部 淳一 090-6926-4956

柴田(旧姓:宮本)美穂 090-2551-5524

大嶽 眞一 090-4701-0594

編集部 注) 紙面の都合で一部編集してあります。

この記事は同窓会HPでもご覧いただけます。(編集前のもの)

下記のQRコードまたはURLよりお願いします。



<http://www.sakura-doso.org/info2-2.html>



写真 2024.1.13 新年会 新宿「天津飯店」

同窓生から③

爺(じい)の二人旅

5回生 武田 清直

櫻丘高等学校5回生の武田です。同級生で何と1年生の入学時のクラスメイト(前鶴ヶ丘校校長の川瀧君)と、爺(じい)2人の車で気まま旅の一部をご紹介します。

5月のある日の朝、5時半に自宅をスタートして、中央林間の川瀧君宅に寄り2人旅がスタート。東名高速厚木インターから目的地の鳥取砂丘を目指します。順調に進むかと思ったら、御殿場辺りから雨が降りだして新東名高速に入ると物凄い豪雨で前が見えない程の状況になり、速度を落として安全運転をせざるを得ない状況になりました。

先行きが不安・苦痛にしかし富士辺りから天候も回復して青空になって、気分も晴れました。爺旅らしく、サービスエリアは混雑するのでこじんまりのパーキングに寄ってのトイレ休憩は必要です爺さんは、2人で馬鹿話をしながらの自由旅!

名古屋から先は不慣れだったが、京都・大阪を抜けて山陰道に入り何時の間にか鳥取の標識が目に入り、「来たなー」と顔を見合わせます。何年振りだろうかのこの雄大な自然の織り成す景色に、2人で日本海に向かって大きく深呼吸しました。

隣の砂丘美術館に寄り世界中の作家の砂の芸術作品を堪能します。15年振りの砂丘は矢張感動でした。更に鳥取城跡に行き、球状に積まれた日本でも珍しい石垣が残された珍しい城跡で、地形を考えた方法とのことです。初日で距離も走ったので早めにホテルにチェックイン。翌日は松江に移動です。

盛り沢山の寄り道に胸踊らせて、大根島由志園・美保神社・松江城・八重垣神社・日御碕神社に参拝し更に稲佐の浜にて、「お砂」を頂き、出雲大社に参拝です。頂いた「お砂」を本殿の奥のお社の床下に納めてから、そこに納められている「お砂」を頂き正式な出雲大社の参拝を無事に終えることが出来ました。その「お砂」は自宅に戻り、自宅に撒いて清めました。感謝報恩です。

ホテルにチェックインして、さっそくホテルのマネージャーまたは支配人に美味しい食事処をリサーチします。なんとも親切に行きつけの店に案内して頂けて、美食を堪能できました。ここで自分の出雲そばの概念が変わるほど美味しいそばも満喫しました。3日目もハードに、白兔神社・物部神社を参拝後石見銀山に向かいます。人生初めてのアシスト自転車をレンタルして、銀山の最大の龍源寺間歩を始め製錬所跡等々を回りました。精錬所跡では世界の産出量の1/3を誇ったことを垣間見ることが出来ました。更に先を目指して浜田へ、日本三大稻荷大社の太鼓谷稻荷大社を参拝。古くからの名物の源氏巻を土産に買うことに。

書けばきりが無い爺さん2人旅も明日はいよいよ帰ることに。浜田駅の前をウロウロしながら夕食を楽しみます。翌日も市場に寄って目的も無く歩くと、ついつい欲しくなり何かと買ってしまいます。人の業とは、歳とは無関係ですね。

帰りはひたすら高速道路を東に向かい、約900キロのドライブでした。トータル2,500キロ以上の旅も「楽しい」の一言で満足感・達成感のみ心に刻むことが出来ました。またやりたい願望が残っています。



同窓生から④

同窓会理事・作家 岡村直樹さんを偲んで

11回生 中浦 秀和

昨年1月5日に肺がんのため逝去した同窓会理事であり、著名な旅行作家、岡村直樹さん(6回生・74歳)の新盆に際し、7~回生30回生の有志9名が、同年7月22日、横浜市青葉区の緑山霊園に集った。鉄道部OB等、参列者は猛暑の中、この月に出版された「寅さん『日本』を歩く増補新装版(大和警告社)」を墓前に捧げ故人の冥福を祈った。

岡村さんは昭和39年櫻校の創成期に入学した。気骨ある海軍経験者の塚本丈夫先生(回天特攻隊)や加藤滋先生(横須賀航空隊)、徳山靖生(戦前・戦中の人気歌手、徳山璉(たまき)・寿子(ひさこ)夫妻の子息。寿子さんは坂本龍一に作曲を勧め世界的音楽家となるキッカケをつくったピアノの恩師)など、当時のいぶし銀のような先生方のあふれる愛情に生まれ慶應義塾大学に合格。社会に出てからはローカル紙記者などを経て旅行作家となり、川文化や時代小説、映画芸術など様々な切り口から意欲的に執筆活動を展開。全国の一級水系109本すべてを10年がかりで踏破して同級生の中でもひとときわ輝く足跡を残した。

代表作は松本清張生誕100年を記念して出版された「『清張』を乗る(交通新聞社)」。雑誌「旅と鉄道(山と溪谷社)」などへの執筆も多かった。その傍ら記者経験を活かし、同窓会活動や会報の取材・編集にも非常に熱心だった。

ちなみに、映画監督の森田芳光さん(故人・家族ゲーム、武士の家計簿など)は、岡村さんの1年後輩である。

在任中に借入なしで新校舎を竣工させ、高潔で優しい人柄のため人望の厚い元校長の作山隆先生は、岡村さんを「私心がなく落ち着いたのある人柄の持ち主」と評していた。また、岡村さんも生前「作山先生から、小生の元にわざわざお便りをいただき、激励をたまわりました。作山先生を見習いくじけずに治療に励みたいと思います」と、自らも癌と闘病中にも関わらず、励ましの手紙を送ってくれた作山先生への感謝の気持ちを綴っていた。

また、卒業生から信望を集めている大河内隆先生と談笑する姿は忘れ難い。

岡村さんは、現在、小説家を目指し執筆活動を進めている母校の後輩の女性(21回生)に、病をおして死の直前までの3年間、真摯な指導も続けていた。彼女は墓前で「先生!私が小説家としてデビューできた暁には、祝賀パーティーに必ず出席するから...そう言ってくださいましたね。いくら感謝してもしきれない御恩をいただき、本当にありがとうございました」と涙を滲ませていた。

誠実で優しく、読者のみならず、たくさんの人々に愛されていた岡村直樹さんのご冥福を皆さんとともにここから祈りたい。

合掌



◆同窓会では卒業生の皆様からのお便りをお待ちしています。

令和5年度卒業生 大学進学状況

(注:会報編集時点での数字ですので最終数字ではありません)

(1)学部 4年制

	基礎 学力 選抜	付属 特別 選抜	国公立 併願 方式	追加 募集	付属推 薦進学 総計	総合型 公募	一般 入試	進学 総計
法学部	54	20	1		75			75
(二部)	4	1			5			5
文理学部	72	8			80			80
経済学部	29	22	1		52			52
商学部	33	8	1		42			42
芸術学部	16	3			19			19
国際関係学部	1				1			1
危機管理学部	8				8			8
スポーツ科学部	7	1			8			8
理工学部	28	14	2		44			44
生産工学部	3				3			3
工学部					0			0
医学部					0			0
歯学部					0			0
松戸歯学部					0			0
生物資源科学部	18	7			25			25
薬学部	4				4			4
学部計	277	84	5	0	366	0	0	366

(2)短期大学部

短大三島					0			0
短大船橋					0			0
短大計	0	0	0	0	0	0	0	0

(3)専門学校

看護専門								0
歯)歯科衛生								0
歯)歯科技工								0
松戸)歯科衛生								0
専門計						0	0	0

他大学 総合型・公募・一般選抜合格数一覧

大学(短大・専門含む)	指定校	総合型	公募	一般	合計
本 大 学	1	1		238	240
※うち、N方式合格は218件					
防衛大学校			1		1
東京学芸大学			1		1
筑波大学			1		1
東京都立大学			1		1
早稲田大学				2	2
上智大学	1			1	2
東京理科大学				1	1
学習院大学	4			2	6
明治大学				12	12
青山学院大学	1			10	11
立教大学	1		2	12	15
中央大学	1			14	15
法政大学	6		1	27	34
関西学院大学				1	1
同志社大学				3	3
立命館大学				4	4
成蹊大学	7			14	21
成城大学	2			8	10
明治学院大学				7	7
武蔵大学				3	3
東洋大学				11	11
駒澤大学				7	7
津田塾大学				3	3
東京女子大学				4	4
日本女子大学				2	2
昭和薬科大学	2				2
東京薬科大学	3		1		4
明治薬科大学	2		2		5
亜細亜大学				1	1
桜美林大学				1	1
大阪芸術大学		1			1
大妻女子大学	1				1
神奈川大学				1	1
関東学院大学				1	1
北里大学				1	1
共立女子大学				2	2
杏林大学				2	2
工学院大学		1	1		4
国学院大学				3	3
実践女子大学	1				2
芝浦工業大学				3	3
淑徳大学				2	2
順天堂大学				2	2
湘南工科大学				3	3
昭和大学				1	1
昭和女子大学	1			6	7
城西大学				1	1
女子栄養大学	1				1
白百合女子大学				1	1
聖心女子大学	1				1
洗足学園音楽大学			1		1
創価大学				1	1
玉川大学	2			4	6
千葉工業大学	1			5	6
中京大学				4	4
帝京大学				3	3
帝京科学大学				3	3
東海大学				6	6
東京医療保健大学				1	1
東京家政大学	1				1
東京家政学院大学				1	1
東京経済大学	2				2
東京工科大学	2			1	3
東京女子医科大学				1	1
東京電機大学	1			2	3
東京都立大学	3		1	8	12
東京農業大学	9				9
東邦大学	1				1
日本女子体育大学		1			2
福岡大学				1	1
文教大学				2	2
武蔵野大学	3			2	5
武蔵野音楽大学	1				1
明星大学				4	4
合計	62	4	13	473	552

鶴見大学 短期大学部		1			1
短期大学合計	0	1	0	0	1

慈恵看護専門学校	1				1
聖マリアンナ医科大学看護専門学校				1	1
日本外国語専門学校		1			1
E S P 学園 東京			1		1
Winchester Shoel College			1		1
専門学校・専門職大学等合計	1	1	2	1	5

◇高校職員人事(教師)

○異動(転出)

徳永 磨樹(英語科) 豊山高校へ

○定年退職

笹岡 健彦(数学科)

◇理事・役員

名誉会長:大木治久(校長)

会 長:武田清直(5回生)

副会長:澤田彰(教頭)、水口均(会計兼務:11回生)、
平尾剛人(12回生)

専務理事:松倉宏治(14回生)

理 事:平野雄二(12回生)、室橋芳行(15回生)、
吉田滋(16回生)、田谷真(20回生)、
五十嵐理香(27回生)、武田直丈(34回生)、
山下亮(39回生)、佐伯雄一(39回生)、
井部和正(44回生)、志村卓哉(46回生)

休職中 東海林啓造(18回生)、

会計監査:城田勲(1回生)、牧村正治(4回生)

*現職の理事であった岡村直樹(6回生)は令和5年1月5日、癌のため逝去いたしました。ご冥福をお祈りいたします。

◇奨学金選考委員会

令和5年度同窓会奨学基金選考委員会において、理事会での決定に基づき新型コロナ禍での経済的
事情なども勘案しながら、厳正に審査をし、8名を選抜しました。

部活紹介／アウトドア部

部員数 11名(令和5年度末)
 1年生 5名 2年生 6名
 指導スタッフ
 金子和義先生 井部和正先生(44回生)
 神谷奎慧指導員(60回生)
 活動日 月曜日・火曜日・金曜日 15:30～
 日曜日(月に1回程度月例山行を実施)
 ※長期休暇中には合宿を実施
 (令和4年度 夏:唐松岳(長野) 冬:大菩薩(山梨))
 活動場所 トレーニング:生徒会館裏
 登山に関する座学:教室
 山行:東京近辺の山々
 目標:日々の活動や定期的な山行を通して、
 登山の基礎的な知識・技術を身につける



日本大学櫻丘高校同窓会第62期(令和5年度)会計・財務報告

会計年度(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

*会計監査前の数字ですのでHPにて最終決算をご確認ください。

1. 一般会計(収支決算の部) (単位:円)

科 目	金 額
前期繰越金 (A)	32,332,971
当期収入金(①+②+③+④+⑤+⑥) (B)	5,414,034
(小計)(A)+(B)=(C)	37,747,005
当期支出金額 (D)	7,098,061
特別積立への出金 ()	0
次期繰越金 (C)-(D) (F)	30,648,944

2. 資産管理状況((F)の内訳) (単位:円)

科 目	金 額
定期預金(三井住友銀行下高井戸支店)	21,286,354
普通預金(三井住友銀行下高井戸支店)	9,144,449
現金	218,141
特別積立金()	
合計金額 (F)	30,648,944

3. 特別会計(同窓会奨学基金) (単位:円)

科 目	金 額
奨学基金現在残額	21,782,940
残高(定期預金・三井住友銀行)	21,782,940

4. 一般会計(収入の部) (単位:円)

科 目	金 額
前期繰越金 (A)	32,332,971
新入会員会費収入(64回生) ①	5,270,000
*令和5年度卒業生 527人	
会員会費収入(期限後入金分) ②	0
総会時會費収入金 ③	144,000
寄付収入(祝金他) ④	0
預金利息収入(定期除く) ⑤	34
会報広告収入 ⑥	0
合計金額 (C)	37,747,005

5. 一般会計(支出の部) (単位:円)

区 分	項 目	金 額	
理事会 運営費	会 議 費	218,022	
	通 信 費	0	
	事務費	消耗品費	3,924
		物品費	0
	交 通 費	78,000	
	雑 費	慶弔費	2,530
		記念品費	71,360
		諸経費	8,934
		HP管理費	119,412
		振込手数料	7,260
	(小計)	(509,442)	
奨学金	第28期 給付金	800,000	
	(小計)	(800,000)	
総 会	総会費	61回総会 2,262,507	
	雑 費	印刷代他 0	
	(小計)	(2,262,507)	
会報費	編 集 費	0	
	印刷費	会報印刷費	551,155
		封筒・封入	344,850
	会報発送費	2,300,656	
	(小計)	(3,196,661)	
会員管理	会報送付用宛名出力費	0	
	会員データ処理費	149,116	
	会員確認作業費	0	
	(小計)	(149,116)	
	特別積立金	0	
	(小計)	(0)	
特定奨励金	部活等支援金	180,335	
	(小計)	(180,335)	
合 計	(D)	7,098,061	

昨年度、特進クラスの生徒を対象に本校卒業生による特別講義が3回(講師8名)実施され、同窓会におきましても支援をさせていただきました。

ご協力をいただいた卒業生は以下の方々です。ありがとうございました。

第1回 6月24日(土)実施; 高橋 実(2012年度卒)・松井 七海(2018年度卒)

第2回 11月4日(土)実施; 西尾 克洋(1998年度卒)・内海 摩耶(2006年度卒)

入江 祐介(1996年度卒)・小室 璃歩(2017年度卒)

第3回 1月20日(土)実施; 西尾 克洋(1998年度卒)・中垣 舞香(2010年度卒)

以上敬称略

同窓会の総会・懇親会へ来ませんか

この機会に同窓会の総会を卒業後20年・30年、還暦(60歳)・古希(70歳)・喜寿(77歳)など区切りの年の集りにしてみたいかかでしょうか。お友達などと誘い合ってぜひご来場ください。

第63回定期総会は令和6年5月18日(土)に開催されます。総会前、7回生で構造設計一級建築士の森田敏氏に、「なぜ免震建物はいいのか?」と題し講演していただきます。森田氏は10年前に本校校舎の耐震設計をされました。短い時間ではありますが、総会の開催前に実施いたしますので、興味のある方は是非ご聴講下さい。

第63回 同窓会総会・懇親会

日本大学櫻丘高校同窓会定期総会を下記の通り開催いたします。皆さま体調にご留意いただきましてご参加下さい。

日時: 令和6年5月18日(土曜日)

会場: 渋谷 セルリアンタワー東急ホテル
地下2階 ボールルーム
〒150-8512 東京都渋谷区桜丘町26-1

◆特別講演 午後3時～3時45分
会場 地下2階「白妙」

◆総会・懇親会 午後4時～7時

会費: 新会員 無料
学生 1,000円
社会人 3,000円

内容: 第1部 総会 会計報告、役員承認、その他
第2部 懇親会 テーブル着席ブッフェ形式



会場・時間等は事前に同窓会のHPにてご確認ください。

同窓会HPアドレス <http://www.sakura-doso.org>